

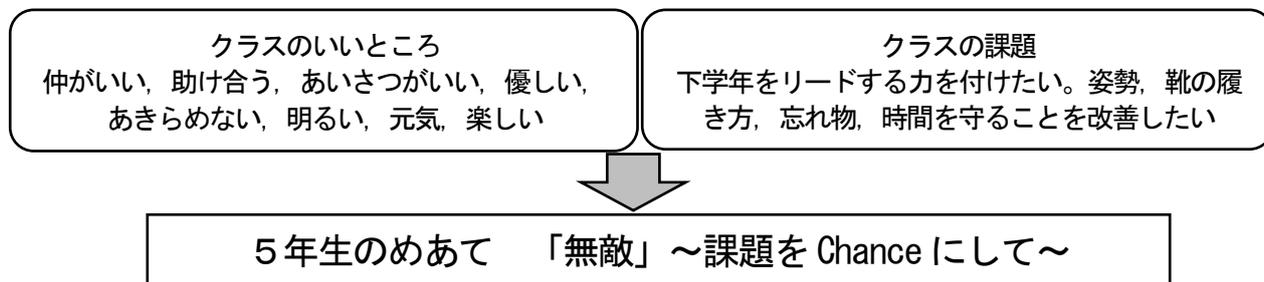


めあてをもつ

校長 林 なおみ

児童期は、「達成感」の経験が重要であるといわれます。子どもたちは、学校生活の様々な活動で、めあてを立て、それをやり抜くことを学びます。

5年生と6年生は、学級で話し合い、一年間のめあてを決めました。



「クラスの課題を一つ一つ改善して、無敵の5年生になりたい」という思いから、学級目標が決まりました。サブタイトルは、課題を見つけたことを、自分たちが成長するChanceにしたいという願いです。

H素早く行動
A安心頼れる
Pポジティブ
Pパーフェクト
Yやさしく協力
1人1人の個性が光る
6年生!

6年生のめあて HAPPY16

様々な場面で全校に6年生16人のHAPPYな姿を見せて、HAPPYな中之口東小にしたいという思いから、学級目標を決めました。最高学年としての姿をみんなで考え、「HAPPY16」の文字に当てはめました。

5年生は自分たちの現在の課題を、6年生は最高学年としての使命を、それぞれに厳しく見つめ、そこからめあてを考えていました。5・6年生共に、学校のリーダーとしての立場をしっかりと自覚していることが分かります。また、5年生と6年生が、「助け合う・やさしく協力」「あきらめない・ポジティブ」などの価値を共有していることも分かりました。

中之口東小学校は今年度、自ら学ぶ力（主体性）、助け合う力（協働性）、つながる力（社会参画）の育成を目指し、重点目標「考える 助け合う あいさつをする」を子どもたちへ示しました。行事や日々の生活の中で、自分で考えて行動する姿、困っている友達を助ける姿、明るくあいさつをする姿に、めあてに向かう子どもたちの成長の力を感じています。



【おいしさいっぱい中之口】
3年生が総合学習で、桃農家さんに桃の栽培を教えていただいています。今、桃はこんな大きさです。